外国語学部長　粟野先生プロデュース　OGU 学生座談会

外国語学部での 昨日♪　今日♪　明日♪～

在学生に **入学**から 現在の**ジブン**、そして これからの**夢** について語っていただきました。
海外留学や　**憧れの職業**への第一歩、そして楽しい**学生生活**など・・・・・・
先輩たちの**リアルな学生生活をのぞいてみよう！！**

出席者紹介

（写真左から）

外国語学部　1 年次生　ピザーロ・アケミさん（私立 立命館守山高校出身）
AO 入試で入学。すでにスペイン語と日本語のバイリンガル。英語も学んで三ヶ国語習得を目指す。

企業情報学部 3 年次生　前田浩史朗くん（和歌山県立熊野高校出身）
2008 年 8 月～翌年 6 月まで韓国スンチャンヒャン大学へ交換留学予定。白井奨学生。

外国語学部　2 年次生　宮澤美帆さん（私立 札幌静修高校出身）
キャビンアテンダントを目指してホスピタリティ・マネジメント・プログラムを受講。白井奨学生。

外国語学部　2 年次生　中西　維くん（私立 大谷高校出身）
将来はホテルの仕事に興味があり。ホスピタリティ・マネジメント・プログラムを受講。白井奨学生。

外国語学部 3 年次生　小寺良枝さん（京都市立紫野高校出身）
2008 年 8 月～12 月までハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ（KCC）へ交換留学予定。

司会進行・アドバイス
外国語学部長　粟野修司 先生（外国語学部 教授）
キャリアセンター委員　川本裕未 先生（外国語学部 准教授）

～大学入学までのイキサツ～

小寺さん：幼稚園の頃から英会話を習っていました。それから今までずっと、何らかの形で“英語でのコミュニケーション”を続けてきた、といえます。小学生時代に一度、「バスケや他のこともいろいろしたいのに英会話学校があってできない！」と、英語が嫌いになったことがありましたが、結局、中学･高校と英会話のある生活に戻ってきて、高校 2 年の時には 1 ヶ月足らずでしたがオーストラリアへの留学も経験しました。今では、もう私と英会話は『運命共同体!?』と思っています（笑）。その延長で大阪学院大学の外国語学部に入学したのですが、**フレンドリーなネイティブの先生**がたくさんいらっしゃるこの大学で、英会話のある生活をエンジョイしています！

宮澤さん：私も小さいときから、母に『英語と数学はできるように』と教えられてきて、英語を勉強するのが苦じゃない･･･というより、楽しく思えるようになりました。スポーツが大好きで、高校時代はバレーに熱中したり、出身が北海道なのでスノーボードをしたり、と体力には自信があります。そして、昔から北海道-大阪間を、よく飛行機で往復していて、キャビンアテンダントに『女性の強さ』を感じ、憧れていました。大阪学院大学は、そんな**『キャビンアテンダントになる夢』が叶えられそうな大学**だったので、入学を決めました。

（右写真：ＪＡＬエクスプレスで勤務する、2007 年外国語学部卒業の真鍋さん）

中西くん：僕は、どうも“浮気性”みたいで（笑）高校時代から、いろんなことに興味を持って、いろいろと目指すものがありました。そのひとつが、音楽。高校時代にブラスバンドに所属していたのですが、そこの OB にアメリカのマーチングで活躍している方がいらっしゃって、自分も外国で音楽を学びたい！と思ったり･･･。また、ホテルやレストランといったホスピタリティ産業にも興味があって、そういった分野も学べる大阪学院大学に入学を志望しました。他に合格している外大もあったのですが、**明るい雰囲気の大阪学院大学**の方が自分に合っていると思い、入学を決めました。

前田くん：僕は、大阪学院大学へ進学した**先輩の薦めもあって、指定校推薦で入学**しました。学部は企業情報学部ですが、入学してから友達の影響で外国に興味がわいてきて･･･**ハワイの大学での語学研修**を経験し、今度は**韓国の大学へ 1 年間の交換留学**に行く予定です。実は･･･僕が小学生の頃、父が 1 年間カナダに留学したのですが、厳しかった父が、留学前と後で人が変わったようにフランクになって（笑）それほど人を変える海外留学ってどんなもの？と今からワクワクしています。

（左写真：前田くんの参加したハワイ大学春期研修）

ピザーロさん：私は、**留学制度やユニークなプログラムがいろいろある大阪学院大学**に興味を持ち、**AO 入試**を選びました。そこで、粟野先生とのインタビューを通して、さらに大阪学院大学の外国語学部に興味がわき、入学を決めました。すでにスペイン語と日本語のバイリンガルなので、英語も修得して、三か国語を使えるトライリンガルになりたいと思っています。

～今、一番興味を持っていること、学んでいること～

小寺さん：私は**ボランティア活動**です。大阪学院大学には、様々なボランティア活動をする機会があって、私がこれまでにしたのは、**オープンキャンパスの学生スタッフ**、オールスターキッズというチビッコ達のための英会話プログラムでの補助スタッフ、**スクールボランティア**･･･。スクールボランティアというのは、近隣の小学校で教育補助をする制度なのですが、私はプールの時間にみんなが泳げるようになるための補助や、授業中に教室で『静かに！ハイ！ちゃんと前を向いて！！』と注意する補助などをしました。大学が提供するボランティア制度なので、安心して参加できます。

前田くん：僕は絵を描くのが好きで、今は授業とは別に、ハワイから来られた広告や**キャラクターデザイン**を専門とする先生にマンツーマンで教わっています。企業情報学部には **IT デザインのコース**があるのですが、IT デザインには英語力も必要なんですね。あと、韓国への留学を控えていて、**エクステンションセンター**で韓国語講座を受講しています。ここに同席している小寺さんと中西くんとは、現在 TOEFL の講座で一緒ですよ（笑）。前に TOEIC の講座も受講しました。

ピザーロさん：私は趣味として、今、ダンスに興味がありますが、来年は留学にも行きたいと思っているので、**TOEIC や TOEFL の勉強**をしていきたいです。大阪学院大学には **I-Chat Lounge** という日本語禁止のおもしろい施設があるので、ここでも楽しく英語力を鍛えています。

（右写真：I-Chat Lounge で英会話を楽しむピザーロさん）

宮澤さん：私はキャビンアテンダントを目指して、**ホスピタリティ・マネジメント・プログラム**を受講するなど、いろいろな勉強をがんばっています。実家に帰った時には、大好きなスノボをしたりしているのですが、今は『自分のやるべきこと』がいっぱいあって･･･それをするために大阪に出てきたので、実家に帰るのを年に 2 回くらいに我慢して!?います。

中西くん：僕もホスピタリティ・マネジメント・プログラムの授業がおもしろくて、その中にホテルでの長期の**インターンシップ**の機会があるのですが、もう、そのままそのホテルに就職して

しまうくらいの思いで取り組みたいと思っています。そのインターンシップを始める前に、1年間の交換留学にも挑戦したいですね。そのほかに、外国語学部の科目で『オーラルコミュニケーション』の授業や、粟野先生の『英米言語文化』も、すごくおもしろい授業ですよ。

～オモシロイ授業。オススメの授業～

中西くん：**『オーラルコミュニケーション』**は、その名のとおり、英会話によるコミュニケーション能力を育てる科目なのですが、“羞恥心”を取り除く絶好の機会となる授業でした。高校までの授業とは全然違った雰囲気でしたよ。**『英米言語文化』**の授業は、粟野先生が同席されているから言っているわけではなく（笑）、先生の話のなかに、留学した際に、現地の人との会話でネタになるようなおもしろい豆知識が満載で。

前田くん：確かに（笑）。僕は企業情報学部ですが、僕も外国語学部の『英米言語文化』を受講していて、粟野先生のマニアックなほどの深い知識が、本当におもしろいですね。特に建築学の話しが熱い！（笑）

宮澤さん：『オーラルコミュニケーション』は、いろんな人の意見や考えも聞けて、本当におもしろいですね。少人数なので、アットホームですし。

（右写真：オーラルコミュニケーションを担当する外国語学部教授 ケリー先生）

小寺さん：外国語学部は少人数制で、いろんな人と一緒に受講できる科目がいろいろあって、おもしろいですね。私は以前、ハワイの先生の自宅と大学を結ぶ**遠隔授業**を受講したのですが、それがとても印象に残っています。毎回一人ずつスピーチをしないといけなくて、最初はめんどくさいなぁと思っていたのですが、次第に『次は何をテーマに話そうかな』と考えるのが楽しくなってきました。その科目は社会人の方も一緒に受講されていたので、それも新鮮でした。また、**CALL 教室**を利用しての授業では、全員ヘッドホンを装着して、先生が回線をシャッフル。誰とペアになっているのかを探りながら英会話を始めて盛り上がる･･･といったことも経験しました。

（左写真：ＣＡＬＬ教室での授業風景）

～これからの目標、将来の夢･･･～

宮澤さん：私は先ほど話したとおり、**キャビンアテンダントになることが目標**です。体力には自信があるので、これからたくさん勉強して、いろいろなことにチャレンジしてがんばります！

前田くん：まずは、目前に迫った**韓国での留学生活**をがんばってきます！韓国ではお互いの共通語として英語が必須なので、英語と韓国語の両方を身につけてきます。

小寺さん：私も、**KCC への留学**を通して『何か』を見つけてきて、帰ってからまたがんばりたいです。

中西くん：僕も、これから留学に、勉強に、**インターンシップ**に、アルバイトに、と･･･やるべきことがいっぱいですね。

ピザーロさん：まだ将来の夢がはっきりしていないので、**将来の目標を見つけることが目標**かな？

～外国語学部長　粟野先生から　留学に関するアドバイス～

私はアメリカとイギリスにそれぞれ 2 年間の留学経験があるのですが、最初の留学では 1 年目が終わったところで初めて地面に足が付いたという感じがしました。環境に慣れ、自分のペースで勉強ができるようになったのですね。どれほど優秀な学生でも、初めての留学では自分の英語力の足りなさを痛感して帰ってくることがほとんどです。でも、まずはそれを経験しないことには始まらない！留学に行って、帰ってきてからが勝負ですね。

そして、在学中の留学はもちろんのこと、卒業してからこそ、海外の大学で学ぶことをオススメしたい。どこの大学でどんなことが学べるのか、相談に乗りますよ。ただ、外国語学部は語学を学ぶ学部だけれど、留学してからは語学は『学ぶための手段』にすぎず、専門にはなりません。前田くんの学んでいるデザインや、中西くんの興味があるホスピタリティ経営学など、様々な学びのフィールドがある大阪学院大学で、在学中に将来専門にしたい分野を見つけてほしいですね。

最後に、今回座談会に参加してくれた学生たちは、意欲あふれる優秀な学生ばかりでしたね。外国語学部には、このように個性的 かつ 優秀な学生がたくさん在籍しています。大学４年間でしっかりと学びたい人にはオススメの学部ですよ。

～キャリアセンター委員　川本先生から　就職に関するアドバイス～

今や企業の人事担当者は、採用に関して大学のブランドではなく、学生の人物を重視するようになってきています。若者たちがせっかく就職しても職場に馴染めず、就職後３か月と持たず、会社を退職してしまうケースが数多く見受けられるようになった最近、この人物重視の傾向がさらに強まっています。企業にとっては、せっかく採用したのに社内教育半ばで退職されたらかなわないからです。そこで企業は、職場での適応力や仕事に対する意欲のある人物を求めるということになります。その点に関して多くの企業の人事担当者から、大阪学院大学の学生は「意欲的、ユニーク、枠に囚われない発想を持つ」などの優れた評価をいただいています。きっと学生時代に、前田くんのように留学をしてさまざまな文化の人々と交流したり、小寺さんのようにいろいろなボランティア活動をしたり、ピザーロさんのようにすでに２つの文化を子供の時から体験している学生がいることで、柔軟な発想力を育むことができるのでしょう。

また、世間では、「自分のしたいことが分からない」と言って、大学卒業後、就職せずフリーターやニートになってしまう若者が数多くいる中、大阪学院大学の学生は押し並べて人生に積極的です。宮澤さんはキャビンアテンダントをめざして「自分のやるべきこと」がたくさんあって、なかなか実家にも帰れないくらい忙しいということでした。また中西君はいろいろなことに興味があり、自分のやりたいことがたくさんあり過ぎる“浮気症”と自己分析していました。これこそが大阪学院大学の学生気質だと私は思います。私たち教職員は、こういった学生たちのやる気を全面的にバックアップし、留学プログラム、ホスピタリティ・マネージメント・プログラム、インターンシップなど、夢実現のためのサポート体制を整えていますので、ぜひ活用してほしいと思います。

外国語学部長　粟野先生プロデュース
学生座談会　2008/07/05(sat.)　17 号館 1 階ファカルティラウンジにて

大阪学院大学　大阪学院短期大学
〒564-8511　大阪府吹田市岸部南 2-36-1
TEL：06-6381-8434 (代表)
URL：http://www.osaka-gu.ac.jp/

外国語学部の紹介ホームページもごらんください。
http://iteachers.jp/ogu/index.html